

平成24年度 仙北市「全国学力・学習状況調査」結果分析・改善委員会

# 報 告 書

平成25年3月21日

## I 報告書の作成にあたって

本報告書の作成にあたっては、「仙北市『全国学力・学習状況調査』結果取扱要綱」に則って作成することに特に留意した。

報告書作成の基本的な立場については「第2条（結果の公表）」に基づき、また、その内容については、「第4条（改善策の立案）」の規定に従っている。

### （結果の公表）

#### 第2条

仙北市教育委員会は公立学校設置管理者として地域住民及び保護者に対して結果についての説明責任があることから、次のことに配慮しながら本調査の結果を公表する。

- (1) 教科に関する調査結果の数値による公表や、個々の学校名を明らかにした公表など、結果の公表が学校間の序列化や過度な競争につながるような公表は行わないこと
- (2) 本調査の結果から教育及び教育施策の成果と課題を把握しその改善を図る必要があること
- (3) 本調査の結果の分析を踏まえて仙北市教育委員会として今後の改善方策を併せて示す必要があること
- (4) 本調査により測定した学力は特定の一部であること
- (5) 本調査により測定した学力は固定値ではなく変化するものであること

### （改善策の立案）

#### 第4条

結果を受けた改善策は仙北市教育委員会教育研究室「算数・数学学習指導研究委員会」及び「国語学習指導研究委員会」に改善策の立案に必要な若干名の特別委員を加えた「仙北市『全国学力・学習状況調査』結果分析・改善委員会」において、次の内容について立案し教育委員会に報告する。

- (1) 主として「知識」に関する問題について、結果に応じてその内容を確実に児童生徒に身に付けさせる方策について
- (2) 主として「活用」に関する問題について、実生活の様々な場面に活用する力や様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価改善する力を身に付けさせるための授業改善のあり方について
- (3) 改善のための仙北市教育委員会の教育施策のあり方について
- (4) その他

以上の点を踏まえて、仙北市教育委員会が仙北市民に対する説明責任を果たし、学校の教育及び教育委員会の教育施策の改善に資することを目的として本報告書を作成した。

## II 調査の概要

### 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立し、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。

### 2 実施主体 文部科学省

### 3 参加主体 市町村教育委員会

### 4 調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年の児童生徒

### 5 調査の内容

#### (1) 教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）

国語、算数・数学はそれぞれ「主に知識に関する問題」と「主に活用に関する問題」を出題。理科については、「主に知識に関する問題」と「主に活用に関する問題」を一体的に出題。

##### i) 主として「知識」に関する問題

- ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容
- ・実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など

##### ii) 主として「活用」に関する問題

- ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力
- ・様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価改善する力など

#### (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

##### i) 児童生徒に対する調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

##### ii) 学校に対する調査

学校における指導方法に関する取組や人的・物的教育条件の整備の状況等に関する調査

6 調査期日

平成24年4月17日（火）

7 4月17日に抽出調査を実施した学校・児童生徒数

(1) 実施学校数

	小学校		実施率(%)	中学校		実施率(%)
	調査対象者 在籍学校数	実施学校数		調査対象者 在籍学校数	実施学校数	
全国（国公立）	21,068	5,224	24.8	10,785	4,471	41.5
全国（公立）	20,783	5,140	24.7	9,963	4,296	43.1
秋田県（公立）	235	97	41.3	124	68	54.8
仙北市教育委員	7	3	42.9	5	2	40.0

(2) 実施児童生徒数

小学校児童数	児童数（人）					
	国語A	国語B	算数A	算数B	理科	質問紙
全国（国公立）	262,080	262,037	262,086	262,053	261,726	261,971
全国（公立）	255,180	255,139	255,186	255,151	254,825	255,075
秋田県（公立）	3,511	3,510	3,511	3,510	3,510	3,510
仙北市教育委員会	59	59	59	59	59	53

中学校生徒数	生徒数（人）					
	国語A	国語B	数学A	数学B	理科	質問紙
全国（国公立）	442,285	442,490	442,612	442,606	442,558	442,264
全国（公立）	424,157	424,258	424,379	424,373	424,320	424,026
秋田県（公立）	4,971	4,964	4,960	4,963	4,962	4,963
仙北市教育委員会	54	54	54	54	54	54

---

## Ⅲ 結果

---

### 1 教科に関する調査の結果

---

#### (1)概要

本調査における全国抽出校（以下、全国）及び秋田県抽出校（以下、秋田県）の平均正答率と仙北市抽出校（以下、仙北市）の平均正答率を、小学校6年国語・算数、中学校3年国語・数学のそれぞれ「A：主として知識」及び「B：主として活用」の区分、ならびに小学校6年理科、中学校3年理科の区分で比較して、その状況が良好であるものを「成果」として、また、改善のために検討の余地があるものを「課題」として以下に示す。

また、仙北市の状況の中で学年・教科・区分の視点から比較して、その状況が良好であるものを「成果」として、また、改善のために検討の余地があるものを「課題」として以下に示す。

#### 【成果】

- ①全国及び秋田県の平均正答率と仙北市の平均正答率を比較した場合、〈表1〉にあるように、仙北市の小学校6年生と中学校3年生の国語、算数・数学、中学校3年の理科の学習状況は「概ね満足できる状況」もしくは「十分満足できる状況」である。
- ②全国の平均正答率と仙北市の平均正答率を比較した場合、小学校6年国語A・国語B、算数A・算数B、中学校3年国語A・国語B、数学A・数学B、理科の9項目で仙北市が上回っている。
- ③秋田県の平均正答率と仙北市の平均正答率を比較した場合、中学校3年の国語A・国語B、数学A・数学B、理科のすべてで仙北市が上回っている。
- ④仙北市の平均正答率をみると、中学校3年数学Bが良好な状況である。

#### 【課題】

- ①仙北市の「国語A」－「国語B」、「算数A」－「算数B」及び「数学A」－「数学B」、理科の「主として『知識』に関する問題」－「主として『活用』に関する問題」の平均正答率格差をみると、中学校3年数学において、全国及び秋田県の格差よりも大きく、課題がある。

〈表1〉：全国及び秋田県の平均正答率との比較（教科・問題別）

学年	教科等	区分	平均正答率	仙北市の状況
小学校 6年生	国語A：主として知識	全国(公立)	81.6%	概ね満足できる状況
		秋田県(公立)	86.9%	概ね満足できる状況
	国語B：主として活用	全国(公立)	55.6%	概ね満足できる状況
		秋田県(公立)	63.0%	概ね満足できる状況
	算数A：主として知識	全国(公立)	73.3%	概ね満足できる状況
		秋田県(公立)	79.5%	概ね満足できる状況
	算数B：主として活用	全国(公立)	58.9%	概ね満足できる状況
		秋田県(公立)	64.0%	概ね満足できる状況
理科	全国(公立)	60.9%	概ね満足できる状況	
	秋田県(公立)	68.4%	改善が必要な状況	
中学校 3年生	国語A：主として知識	全国(公立)	75.1%	十分満足できる状況
		秋田県(公立)	79.7%	概ね満足できる状況
	国語B：主として活用	全国(公立)	63.3%	十分満足できる状況
		秋田県(公立)	70.3%	概ね満足できる状況
	数学A：主として知識	全国(公立)	62.1%	十分満足できる状況
		秋田県(公立)	67.4%	概ね満足できる状況
	数学B：主として活用	全国(公立)	49.3%	十分満足できる状況
		秋田県(公立)	56.7%	十分満足できる状況
理科	全国(公立)	51.0%	十分満足できる状況	
	秋田県(公立)	56.1%	概ね満足できる状況	

※〈表1〉の「仙北市の状況」は、国及び県の平均正答率と比較し、〈表2〉の表現にしたがって示した。

〈表2〉：〈表1〉の「仙北市の状況」に係る階層区分と表現（以下の表同じ）

	階層区分	表現
1	国及び県の平均正答率と仙北市の平均正答率の差が+6%以上であるもの	十分満足できる状況
2	国及び県の平均正答率と仙北市の平均正答率の差が+5%以下～-5%以上であるもの	おおむね満足できる状況
3	国及び県の平均正答率と仙北市の平均正答率の差が-6%以下であるもの	改善が必要な状況

※〈表2〉は「仙北市『全国学力・学習状況調査』結果取扱要綱」第3条（別表2）による。

## (2)設問分類・区分別集計結果から

本調査における全国及び秋田県の「学習指導要領の領域」「評価の観点」「問題形式」別の平均正答率と仙北市の平均正答率を比較して、その状況が良好であるものを「成果」として、改善のために検討の余地があるものを「課題」として以下に示す。

また、仙北市の状況の中で学年・教科・区分について「学習指導要領の領域」「評価の観点」「問題形式」の視点から、その状況が良好であるものを「成果」として、また、改善のために検討の余地があるものを「課題」として以下に示す。

### 【成果】

- ①〈表3-(1)〉～〈表3-(10)〉にあるように、「学習指導要領の領域」「評価の観点」「問題形式」の視点から、全国の平均正答率と仙北市の平均正答率を比較してみると、小学校6年国語A・国語B、算数A、理科、中学校3年国語A・国語B、数学A、理科の8項目において、「概ね満足できる状況」或いは「十分満足できる状況」である。
- ②同様に全国の平均正答率と仙北市の比較からは以下のことが言える。
  - ア)「小学校6年国語A」では、「学習指導要領の領域」の4区分、「評価の観点」の5区分、「問題形式」の2区分の計11区分のうち、2区分が「十分満足できる状況」である。
  - イ)「小学校6年国語B」では、12区分のうち、5区分が「十分満足できる状況」である。
  - ウ)「中学校3年国語A」では、10区分のうち、すべてが「十分満足できる状況」である。
  - エ)「中学校3年国語B」では、10区分のうち、8区分が「十分満足できる状況」である。
  - オ)「中学校3年数学A」では、7区分のうち、6区分が「十分満足できる状況」である。
  - カ)「中学校3年数学B」では、9区分のうち、8区分が「十分満足できる状況」である。
  - キ)「中学校3年理科」では12区分のうち、9区分が「十分満足できる状況」である。
- ③仙北市の状況の中で小学校6年については以下のことが言える。
  - ア)「国語」については、「A：主として知識」では「学習指導要領の領域」の「話すこと・聞くこと」「書くこと」が、「評価の観点」の「話す・聞く能力」「書く能力」「言語についての知識・理解・技能」が良好な状況である。
  - イ)「算数」については、「A：主として知識」では「学習指導要領の領域」の「数と計算」「量と測定」「図形」が、「評価の観点」の「数量や図形についての表現・処理」「数量や図形についての知識・理解」が、「問題形式」の「選択式」「記

述式」が良好な状況である。また、「B：主として活用」では、「評価の観点」の「数量や図形についての知識・理解」が良好な状況である。

④仙北市の状況の中で中学校3年については以下のことが言える。

ア)「国語」については、「A：主として知識」では、「学習指導要領の領域」の「話すこと・聞くこと」「読むこと」が、「評価の観点」の「話す・聞く能力」「読む能力」が、「問題形式」の「記述式」が良好な状況である。また、「B：主として活用」では、「学習指導要領の領域」の「書くこと」「読むこと」が、「評価の観点」の「国語への関心・意欲・態度」「書く能力」「読む能力」が、「問題形式」の「短答式」「記述式」が良好な状況である。

### 【課題】

①秋田県の平均正答率と仙北市の平均正答率を「学習指導要領の領域」「評価の観点」「問題形式」の視点から比較した場合、次のような課題がある。

ア) 小学校6年「国語」「A：主として知識」を「学習指導要領の領域」でみると、「書くこと」に、「評価の観点」でみると「国語への関心・意欲・態度」・「書く能力」に課題がある。「B：主として活用」「学習指導要領の領域」でみると「話すこと・聞くこと」・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」に、「評価の観点」でみると「国語への関心・意欲・態度」・「話す・聞く能力」・「言語についての知識・理解・技能」に、問題形式でみると「記述式」に課題がある。

イ) 小学校6年「算数」「A：主として知識」を「指導要領の領域」でみると「図形」に、「評価の観点」でみると「数量や図形についての知識・技能」に課題がある。「B：主として活用」を「指導要領の領域」でみると「数量関係」に、「問題形式」でみると「選択式」に課題がある。

ウ) 小学校6年「理科」を「指導要領の領域」でみると「物質」・「エネルギー」・「地球」に、「評価の観点」でみると「科学的な思考・表現」・「自然事象についての知識・理解」に、「問題形式」でみると「短答式」「記述式」に課題がある。

エ) 中学校3年「数学」「B：主として活用」を「学習指導要領の領域」でみると、「数量関係」に課題がある。

〈表 3 - (1)〉 : 「小学校 6 年国語 A」 の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答 率(公立)%	全国平均正答 率(公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
の指 領導 域要 領	話すこと・聞くこと	3	82.7	79.4	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	書くこと	2	68.6	57.5	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
	読むこと	4	87.0	82.1	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	9	91.2	86.3	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
評 価 の 観 点	国語への関心・意欲・態度	1	59.2	43.2	改善が必要な状況	十分満足できる状況
	話す・聞く能力	3	82.7	79.4	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	書く能力	2	68.6	57.5	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
	読む能力	4	87.0	82.1	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	言語についての知識・理解・技能	9	91.2	86.3	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
問 形 式	選択式	4	78.2	72.5	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	13	89.5	84.3	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	記述式	0				

〈表 3 - (2)〉 : 「小学校 6 年国語 B」 の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答 率(公立)%	全国平均正答 率(公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
の指 領導 域要 領	話すこと・聞くこと	3	71.4	63.0	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
	書くこと	5	54.8	46.8	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	読むこと	5	63.8	55.7	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	1	62.5	55.2	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
評 価 の 観 点	国語への関心・意欲・態度	3	59.0	48.5	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
	話す・聞く能力	3	71.4	63.0	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
	書く能力	5	54.8	46.8	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	読む能力	5	63.8	55.7	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	言語についての知識・理解・技能	1	62.5	55.2	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
問 形 式	選択式	7	66.5	60.1	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	短答式	1	50.2	45.0	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	記述式	3	59.0	48.5	改善が必要な状況	概ね満足できる状況

〈表 3 - (3)〉 : 「小学校 6 算数 A」 の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答 率(公立)%	全国平均正答 率(公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
の 指 導 域 要 領	数と計算	10	80.0	75.0	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	量と測定	4	78.8	71.7	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	図形	3	79.0	72.6	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
	数量関係	3	82.4	74.4	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
評 価 の 観 点	算数への関心・意欲・態度	0				
	数学的な考え方	0				
	数量や図形についての技能	8	90.2	84.9	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	数量や図形についての知識・理解	11	71.7	64.9	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
問 題 形 式	選択式	4	65.6	58.5	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	15	83.2	77.2	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	記述式	0				

〈表 3 - (4)〉 : 「小学校 6 算数 B」 の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答 率(公立)%	全国平均正答 率(公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
の 指 導 域 要 領	数と計算	6	59.0	54.0	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	量と測定	9	65.8	60.8	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	図形	3	69.0	63.3	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	数量関係	4	54.1	49.5	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
評 価 の 観 点	算数への関心・意欲・態度	0				
	数学的な考え方	8	56.4	50.4	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	数量や図形についての技能	3	81.5	77.6	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	数量や図形についての知識・理解	2	68.6	65.2	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
問 題 形 式	選択式	3	69.8	68.0	改善が必要な状況	改善が必要な状況
	短答式	5	81.7	77.1	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	記述式	5	42.9	35.3	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況

〈表 3 - (5)〉：「小学校 6 理科」の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答 率(公立)%	全国平均正答 率(公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
問題	主として「知識」に関する問題	7	79.0	69.1	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
	主として「活用」に関する問題	17	64.0	57.6	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
指導 領域	物質	7	70.4	61.4	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
	エネルギー	5	69.2	59.8	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
	生命	7	74.4	68.6	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	地球	5	56.4	50.6	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
評価 の 観 点	自然事象への関心・意欲・態度	0				
	科学的な思考・表現	17	64.0	57.6	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
	観察・実験の技能	2	54.3	46.2	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	自然事象についての知識・理解	5	88.9	78.2	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
問題 形式	選択式	15	71.4	65.0	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	6	73.7	63.9	改善が必要な状況	概ね満足できる状況
	記述式	3	42.7	34.5	改善が必要な状況	概ね満足できる状況

〈表 3 - (6)〉：「中学校 3 国語 A」の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答 率(公立)%	全国平均正答 率(公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
の指導領域要領	話すこと・聞くこと	2	91.9	87.7	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	書くこと	4	92.4	88.1	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	読むこと	5	69.4	65.4	十分満足できる状況	十分満足できる状況
	言語事項	21	78.5	73.7	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
の評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0				
	話す・聞く能力	2	91.9	87.7	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	書く能力	4	92.4	88.1	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	読む能力	5	69.4	65.4	十分満足できる状況	十分満足できる状況
	言語についての知識・理解・技能	21	78.5	73.7	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
問題形式	選択式	16	79.5	76.1	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	短答式	16	79.9	74.1	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	記述式	0				

〈表 3 - (7)〉：「中学校 3 年国語 B」の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答 率(公立)%	全国平均正答 率(公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
の指導領域要領	話すこと・聞くこと	3	65.5	59.9	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	書くこと	4	64.4	57.4	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	読むこと	5	69.5	61.5	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	言語事項	0				
の評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	56.4	49.0	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	話す・聞く能力	3	65.5	59.9	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	書く能力	4	64.4	57.4	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	読む能力	5	69.5	61.5	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	言語についての知識・理解・技能	0				
問題形式	選択式	5	74.6	67.7	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	短答式	1	90.5	84.3	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	記述式	3	56.4	49.0	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況

〈表 3 - ( 8 )〉 : 「中学校 3 年数学 A」 の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答 率(公立)%	全国平均正答 率(公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
指導要 領の領 域	数と式	1 2	73.1	67.5	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	図形	1 2	70.9	66.7	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	数量関係	1 2	58.3	52.1	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
評価 の 観 点	数学への関心・意欲・態度	0				
	数学的な見方や考え方	0				
	数学的な表現・処理	1 3	75.2	69.8	十分満足できる状況	十分満足できる状況
	数量・図形などについての知識・理解	2 3	63.1	57.8	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
問 題 形 式	選択式	2 1	64.8	59.7	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	短答式	1 5	71.1	65.5	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	記述式	0				

〈表 3 - ( 9 )〉 : 「中学校 3 年数学 B」 の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答 率(公立)%	全国平均正答 率(公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
指導要 領の領 域	数と式	4	49.9	40.9	十分満足できる状況	十分満足できる状況
	図形	7	66.1	59.7	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	数量関係	4	47.0	39.8	改善が必要な状況	十分満足できる状況
評価 の 観 点	数学への関心・意欲・態度	0				
	数学的な見方や考え方	1 2	49.4	41.8	十分満足できる状況	十分満足できる状況
	数学的な表現・処理	2	81.1	75.0	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	数量・図形などについての知識・理解	1	94.7	89.0	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
問 題 形 式	選択式	3	66.5	58.4	十分満足できる状況	十分満足できる状況
	短答式	5	71.1	65.4	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	記述式	7	42.2	34.0	十分満足できる状況	十分満足できる状況

〈表 3 - (10)〉：「中学校 3 理科」の設問分類・区分別集計結果

分類	区分	対象 設問数	秋田県平均正答 率(公立)%	全国平均正答 率(公立)%	仙北市の状況	
					県との比較	国との比較
問題	主として「知識」に関する問題	10	61.4	56.1	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	主として「活用」に関する問題	18	52.8	47.8	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
指導 領域 要領	物理的領域	8	50.7	45.9	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	化学的領域	6	62.0	56.9	十分満足できる状況	十分満足できる状況
	生物的領域	6	57.7	50.7	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	地学的領域	6	55.9	52.0	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
評価 の 観点	自然事象への関心・意欲・態度	0				
	科学的な思考・表現	16	52.8	47.8	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	観察・実験の技能	4	67.3	63.6	十分満足できる状況	十分満足できる状況
	自然事象についての知識・理解	6	57.5	51.1	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
問題 形式	選択式	12	64.7	60.3	概ね満足できる状況	概ね満足できる状況
	短答式	9	54.5	49.0	概ね満足できる状況	十分満足できる状況
	記述式	6	38.5	32.1	十分満足できる状況	十分満足できる状況

### (3)各設問の集計結果から

ここでは、仙北市の状況の中で学年・教科・区分について、各設問ごとの結果から改善のために検討の余地があるもののうち、特徴的なものについて示す。

#### ①小学校6年「国語」A:主として知識について

ア)「設問番号5ア」「百科事典を読み、目的に応じて中心となる内容を取り出して書く」では、「目的に応じて中心となる内容を捉える」に課題がある。他と比較して、無回答率も高い。

この設問は「学習指導要領の領域」では「読むこと」、「評価の観点」では「読む能力」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

イ)「設問番号6」「創作した物語の語り手が寄り添っている人物として適切なものを選択する」では、「表現の効果について確かめながら物語を創作する」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「書くこと・読むこと」、「評価の観点」では「書く能力・読む能力」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

## ②小学校6年「国語」**「B:主として活用」**について

ア)「設問番号 1 一」 「目的や意図に応じ、依頼する具体的な内容として適切なものを選択する」では、「目的や意図に応じ、書く事柄を整理する」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「書くこと」、「評価の観点」では「書く能力」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

イ)「設問番号 1 二」 「目的や意図に応じ、適切に敬語を使いながら、返事の仕方と内容を記述する」では、「目的や意図に応じ、適切に敬語を使いながら、内容の中心を明確にして書く」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「書くこと・伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、「評価の観点」では「国語への関心・意欲・態度」及び「書く能力」・「言語についての知識・理解・技能」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

## ③小学校6年「算数」**「A:主として知識」**について

ア)「設問番号 1 (3)」 「4. 6 - 0. 2 1 を計算する」では、「小数の減法の計算をすることができる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「数と計算」、「評価の観点」では「数量や図形についての技能」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

イ)「設問番号 3 (1)」 「二つのテープの長さの関係を表している図を選ぶ」では、「場面と図とを関連付けて、二つの数量の関係を理解している」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「数と計算」、「評価の観点」では「数量や図形についての知識・理解」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

ウ)「設問番号 4」 「平均何個のトマトがとれたことになるのかを書く」では、「平均の意味を理解し、測定値の平均を求めることができる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「量と測定」、「評価の観点」では「数量や図形についての技能」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

エ)「設問番号 5 (2)」 「三角形の底辺に対応する高さを選ぶ」では、「三角形の底辺と高さの関係について理解している」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「量と測定」、「評価の観点」では「数量や図形についての知識・理解」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

オ)「設問番号 6 (2)」 「直方体において、与えられた面に垂直な辺を書く」では、「立体図形の辺と面の垂直の関係を理解している」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「図表」、「評価の観点」では「数量や図形についての知識・理解」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

カ)「設問番号 8」 「8人が学級人数の25%にあたる時、学級全体の人数を求め

る式と答えを書く」では、「百分率の意味について理解している」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「数量関係」、「評価の観点」では「数量や図形についての知識・理解」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

#### ④小学校6年「算数」**「B:主として活用」**について

ア)「設問番号 2 (1)」**「中型の跳び箱を 8 段にした時の高さを求める式を選ぶ」**では「観察し、指定された段の高さを求める式を読み取ることができる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「量と測定」「数量関係」、「評価の観点」では「数学的な考え方」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

イ)「設問番号 2 (3)」**「2 種類の 30 cm 高くすると同じ高さになるわけとして、正しい記述を選ぶ」**では「示された複数の情報を関連付けて解釈し、算数の用語で的確に表現されているものを選択できる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「数と計算」「量と測定」、「評価の観点」では「数量や図形についての知識・理解」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

ウ)「設問番号 3 (2)」**「長方形に内接する四角形の面積と長方形の面積の関係を書く」**では「筋道を立てて考え、面積の関係を記述できる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「量と測定」「図形」、「評価の観点」では「数学的な考え方」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

エ)「設問番号 5 (2)」**「回転数と進んだ長さが比例の関係にあることを基に、トラック一周の長さを求める式を選ぶ」**では「比例の関係を捉え、二つの数量の変化の仕方に対応する式を選択することができる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「数量関係」、「評価の観点」では「数学的な考え方」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

#### ⑤小学校6年「理科」について

ア)「設問番号 2 (3)」**「サクラが開花する地域について、データを基に、それぞれあてはまるものを選ぶ」**では「気温が異なる地域の桜の開花時期を、データを基に分析できる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「生命」、「評価の観点」では「科学的な思考・表現」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

イ)「設問番号 2 (5)」**「スイカの受粉と結実の関係を調べる実験について、適切な実験方法を選び、選んだわけを書く」**では「植物の受粉と結実の関係を調べる実験について、結果を基に方法を改善して、その理由を記述できる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「生命」、「評価の観点」では「科学的な思考・表現」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

ウ)「設問番号 3 (4)」**「電磁石の強さを変えるための実験条件を書く」**では「変え

る要因について確かめる実験を、条件を制御しながら構想できる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「エネルギー」、「評価の観点」では「科学的な思考・表現」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

エ)「設問番号 3 (5)」 「水の状態変化の説明として、あてはまる言葉を選ぶ」では「変化する性質を、物を動かす「エネルギーの見方」として適用できる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「物質」、「評価の観点」では「科学的な思考・表現」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

オ)「設問番号 4 (1)」 「方位磁針の適切な操作方法を選び、その時の太陽の方位を書く」では「方位磁針の適切な操作方法を身につけている」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「地球」、「評価の観点」では「観察・実験の技能」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

カ)「設問番号 4 (3)」 「木の影の長さの変化を表したグラフを選ぶ」では「木の影の長さの変化を表すグラフを分析できる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「地球」、「評価の観点」では「科学的な思考・表現」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

キ)「設問番号 4 (5)」 「天気の様子と気温の変化を関連付けて、気温の変化を表したグラフを選び、選んだわけを書く」では「データを基に分析して、その理由を記述できる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「地球」、「評価の観点」では「科学的な思考・表現」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

## ⑥中学校3年「国語」 「A:主として知識」について

ア)「設問番号 7一3、7二1」 「漢字を書く、漢字を読む」では、「文章に即して正しく漢字を書く、読む」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「言語事項」、「評価の観点」では「言語についての知識・理解・技能」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

イ)「設問番号 7三エ」 「適切な語句を選択する」では、「語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「言語事項」、「評価の観点」では「言語についての知識・理解・技能」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

## ⑦中学校3年「国語」 「B:主として活用」について

ア)「設問番号 1三」 「どのような言葉の使い方をしたいのかを具体的な言葉の例を挙げて書く」では、「相手の発言を注意して聞き、自分の考えを書く」に課題がある。他の設問と比較して、無回答率も高い。

この設問は「学習指導要領の領域」では「話すこと・聞くこと」「書くこと」、「評価の観点」では「国語への関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」、「問

題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

### ⑧中学校3年「数学」A:主として知識」について

ア)「設問番号 6 (1)」 「三角定理による平行線の作図について、正しい記述を選ぶ」では「同位角が等しければ2直線は平行であることを理解している」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「図形」、「評価の観点」では「数量・図形などについての知識・理解」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

イ)「設問番号 15 (1)」 「度数分布表について、正しい記述を選ぶ」では「相対度数の必要性と意味を理解している」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「数量関係」、「評価の観点」では「数量・図形などについての知識・理解」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

### ⑨中学校3年「数学」B:主として活用」について

ア)「設問番号 6 (1)」 「正十二角形の1つの外角の大きさを求める」では「問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「数量関係」、「評価の観点」では「数学的な見方や考え方」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

イ)「設問番号 6 (2)」 「正多角形の頂点の数と正多角形の1つの外角の大きさの関係を、数学の用語を使って表現する」では「図形の性質を数量の関係に着目して捉え直し、その特徴をとらえ、数学的に表現することができる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「数量関係」、「評価の観点」では「数学的な見方や考え方」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

### ⑩中学校3年「理科」について

ア)「設問番号 1 (3)」 「成長して種子になる部分の名称を選ぶ」では「『胚珠は、めしべの子房の中にあり、成長すると種子になる』という知識を身に付けている」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「生物的領域」、「評価の観点」では「自然事象についての知識・理解」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

イ)「設問番号 2 (2)」 「1つの回路で、2つの実験と同じ結果を得るための測定方法を説明する」では「他者の実験方法を検討し改善して、正しい実験方法を説明することができる」に特に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「物理的領域」、「評価の観点」では「科学的な思考・表現」、「問題形式」では「記述式」に分類・区分される設問である。

ウ)「設問番号3(2)」 「観察地における地層のつながり方を考察し、地層の傾いている方向を選ぶ」では「観察地の図と観察結果から分析して解釈し、地層の傾きを認識してその傾きの方向を指摘することができる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「地学的領域」、「評価の観点」では「科学的な思考・表現」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

エ)「設問番号3(4)」 「火山、観察地、中学校の位置関係を適切に示した模式図を選ぶ」では「偏西風の影響などの情報から、火山と観察地などの位置関係を推定することができる」に課題がある。

この設問は「学習指導要領の領域」では「地学的領域」、「評価の観点」では「科学的な思考・表現」、「問題形式」では「選択式」に分類・区分される設問である。

オ)「設問番号4(3)」 「実験結果から浮力の大きさを求める式を書き、浮力の大きさを求める」では「浮力を理解している」に特に課題がある。他の設問と比較して無解答率も高い。

この設問は「学習指導要領の領域」では「物理的領域」、「評価の観点」では「自然事象についての知識・理解」、「問題形式」では「短答式」に分類・区分される設問である。

## 2 児童生徒質問紙調査の結果

---

### (1)概要

本調査における児童生徒質問紙調査について、仙北市の特に顕著な傾向がみられるものについて示す。

全国及び秋田県の状況と比較した場合、仙北市の小学校6年生と中学校3年生は、いくつかの課題はみられるものの、全体としては望ましい傾向がみられる。

特に「規範意識・礼儀・思いやり・他者理解」「基本的生活習慣・基本的学習習慣」「家庭での生活」「地域への愛着・地域での生活」「学習に対する意欲・学習の有用感」に望ましい傾向があるといえる。

### (2)小学校6年生にみられる望ましい傾向

#### ①仙北市の傾向

小学校6年生の質問事項に対する回答のうち、「肯定的回答」の占める割合（質問紙の選択肢のうち「よくある」と「時々ある」もしくは、「している」と「どちらかといえば、している」あるいは、「当てはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」等の占める割合を合計した割合）が、90%を超えた質問は、74の質問（4択による質問数）中25の設問であった。

「肯定的回答」の占める割合が90%を超えた質問は以下の表のとおりである。

質問番号	質問	肯定の割合%
(1)	朝食を毎日食べていますか	96.2
(4)	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか	92.5
(6)	将来の夢や目標を持っていますか	94.3
(19)	家の人と普段(月～金曜日)、夕食を一緒に食べていますか	90.6
(24)	家で学校の宿題をしていますか	96.2
(27)	学校で友達に会うのは楽しいと思いますか	96.2
(32)	学校のきまりを守っていますか	98.1
(33)	友達との約束を守っていますか	98.1
(34)	近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか	98.1
(35)	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか	96.2
(36)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	100.0
(37)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	96.2
(38)	あなたの学級では、学級の友達同士で話し合っって学級のきまりなどを決めていると思いますか	92.5
(39)	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか	94.3
(46)	国語の勉強は大切だと思いますか	96.2
(49)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	90.6
(55)	解答を文章で書く問題について、どのように解答しましたか	100.0
(57)	算数の勉強は大切だと思いますか	92.5
(62)	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	92.5
(64)	算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	90.6
(66)	言葉や式を使って、わけや求め方を書く問題について、どのように解答しましたか	100.0
(70)	自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか	96.2
(76)	観察や実験を行うことは好きですか	94.3
(81)	言葉や文章を使って、わけを書く問題について、どのように解答しましたか	98.1
(82)	解答時間は十分でしたか(国語A)	94.3

ア) 「学習に対する意欲・学習の有用感」「学校生活」に望ましい傾向がみられる。

(質問：27) 学校で友達に会うのは楽しいと思いますか

(質問：39) 「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか

(質問：46) 国語の勉強は大切だと思いますか

(質問：49) 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

(質問：55) 解答を文章で書く問題についてどのように(最後まであきらめないで) 解答しましたか

- (質問：57) 算数の勉強は大切だと思いますか
- (質問：62) 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
- (質問：64) 算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか
- (質問：66) 言葉や式を使って、わけや求め方を書く問題について、どのように（最後まであきらめないで）解答しましたか
- (質問：70) 自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか。
- (質問：76) 観察や実験を行うことは好きですか
- (質問：81) 言葉や文章を使って、わけを書く問題について、どのように（最後まであきらめないで）解答しましたか
- (質問：82) 解答時間は十分でしたか（国語A）

イ)「規範意識・思いやり・向上心・社会貢献」に望ましい傾向がみられる。

- (質問：4) ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか
- (質問：6) 将来の夢や目標を持っていますか
- (質問：32) 学校のきまりを守っていますか。
- (質問：33) 友達との約束を守っていますか
- (質問：35) 人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか
- (質問：36) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
- (質問：37) 人の役に立つ人間になりたいと思いますか
- (質問：38) あなたの学級では、学級の友達同士で話し合っって学級のきまりなどを決めていると思いますか

ウ)「基本的生活習慣・基本的学習習慣」「家庭生活」に望ましい傾向が見られる。

- (質問：1) 朝食を毎日食べていますか
- (質問：19) 家の人と普段（月～金曜日）夕食を一緒に食べていますか
- (質問：24) 家で学校の宿題をしていますか

エ)「地域での生活」に望ましい傾向がみられる。

- (質問：34) 近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか

## ②全国との比較から

〈表4〉は、児童質問紙調査のうち、全国の小学校6年生の肯定的回答の割合と仙北市の小学校6年生の肯定的回答の割合を比較して、差が+10ポイント以上のものを示している（表の網がけの部分）。県との割合との差は参考のために示した。

〈表4〉児童質問紙調査のうち全国と比較して肯定的な回答の占める割合が高い事項

質問番号	質問事項	項目	肯定的 回答の 割合(%)	否定的 回答の 割合(%)	仙北市と全国 との肯定的回 答率の差(ポイント)
(23)	家で自分で計画を立てて勉強していますか。	全国の割合	58.0	41.9	+17.5
		県の割合	74.9	25.1	+0.6
(25)	家で学校の授業の予習をしていますか。	全国の割合	40.5	59.5	+10.4
		県の割合	55.9	44.2	-5.0
(26)	家で学校の授業の復習をしていますか。	全国の割合	50.2	49.7	+38.5
		県の割合	87.2	12.7	+1.5
(29)	今住んでいる地域の行事に参加していますか。	全国の割合	63.2	36.7	+12.3
		県の割合	78.2	21.7	-2.7
(31)	年上や年下の友達と一緒に遊んだり、勉強したりすることがありますか。	全国の割合	72.0	27.9	+14.8
		県の割合	71.6	28.4	+15.2
(38)	あなたの学級では、学級の友達同士で話し合って学級のきまりなどを決めていると思いますか。	全国の割合	80.0	19.9	+12.5
		県の割合	84.8	15.1	+7.7
(40)	普段の授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていると思いますか。	全国の割合	52.4	47.4	+15.5
		県の割合	67.3	32.7	+0.6
(50)	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。	全国の割合	61.3	38.6	+19.8
		県の割合	73.7	26.3	+7.4
(59)	算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか。	全国の割合	78.5	21.3	+10.2
		県の割合	83.7	16.3	+5.0
(61)	算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。	全国の割合	66.1	33.7	+13.1
		県の割合	76.0	23.9	+3.2
(70)	自然の中で遊んだことや自然観察したことがありますか。	全国の割合	85.7	14.0	+10.5
		県の割合	91.7	8.3	+4.5
(72)	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。	全国の割合	61.9	37.7	+17.3
		県の割合	73.0	27.0	+6.2
(74)	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか。	全国の割合	28.3	71.3	+13.2
		県の割合	29.5	70.5	+12.0
(82)	解答時間は十分でしたか(国語A)。	全国の割合	78.3	20.8	+16.0
		県の割合	87.8	12.1	+6.5
(83)	解答時間は十分でしたか(国語B)。	全国の割合	70.0	29.2	+13.0
		県の割合	74.4	25.5	+8.6

※「肯定的回答」とは、質問紙の選択肢のうち「よくある」と「時々ある」もしくは、「している」と「どちらかといえば、している」あるいは、「当てはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」等の占める割合を合計した割合。「否定的回答」とは、質問紙の選択肢のうち「あまりない」と「全くない」もしくは、「あまりしていない」と「全くしていない」あるいは、「どちらかといえば、当てはまらない」と「当てはまらない」等を合計した割合。(以下同じ)

※「肯定的回答」と「否定的回答」を合計しても、四捨五入の関係や「その他」「無回答」の割合によって、必ずしも100.0には、ならない。(以下同じ)

#### (4)中学校3年生にみられる望ましい傾向

##### ①仙北市の傾向

中学校3年生の質問事項に対する回答のうち、「肯定的回答」の占める割合（質問紙の選択肢のうち「よくある」と「時々ある」もしくは、「している」と「どちらかといえば、している」あるいは、「当てはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」等の占める割合を合計した割合）が、90%を超えた質問は、74の質問（4択による質問）中16の設問であった。

「肯定的回答」の占める割合が90%を超えた質問を分類してみると次のような傾向が読み取れる。

質問番号	質問	肯定の割合%
(1)	朝食を毎日食べていますか	96.3
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	96.3
(4)	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか	94.4
(24)	家で学校の宿題をしていますか	96.3
(27)	学校で友達に会うのは楽しいと思いますか	92.6
(32)	学校の規則を守っていますか	98.1
(33)	友達との約束を守っていますか	96.3
(34)	近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか	98.1
(35)	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか	96.3
(36)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	98.1
(37)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	98.1
(41)	普段の授業で自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか	94.4
(46)	国語の勉強は大切だと思いますか	96.3
(49)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	90.7
(55)	解答を文章で書く問題について、最後まで解答を書こうと努力しましたか	100.0
(59)	数学ができるようになりたいと思いますか	92.6
(66)	解答を言葉や式を使って説明する問題について、最後まで解答を書こうと努力しましたか	98.1
(69)	理科の授業の内容はよく分かりますか	90.7
(81)	解答を言葉や文章などを使って説明する問題について、最後まで解答を書こうと努力しましたか	100.0
(82)	解答時間は十分でしたか(国語A)	98.1

ア)「規範意識・礼儀・思いやり・他者理解」に望ましい傾向がみられる。

(質問：32) 学校の規則を守っていますか

(質問：33) 友達との約束を守っていますか

(質問：35) 人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか

(質問：36) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

イ)「基本的生活習慣・基本的学習習慣」「家庭での生活」に望ましい傾向が見られる。

(質問：1) 朝食を毎日食べていますか

(質問：3) 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか

(質問：24) 家で学校の宿題をしていますか

ウ)「地域への愛着・地域での生活」に望ましい傾向がみられる。

(質問：34) 近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか

エ)「学習に対する意欲・学習の有用感」に望ましい傾向がみられる。

(質問：41) 普段の授業で自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか

(質問：46) 国語の勉強は大切だと思いますか

(質問：49) 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

(質問：55) 解答を文章で書く問題について。最後まで解答を書こうと努力しましたか

(質問：59) 数学ができるようになりたいと思いますか

(質問：66) 解答を言葉や式を使って説明する問題について、最後まで解答を書こうと努力しましたか

(質問：69) 理科の授業の内容はよく分かりますか

(質問：81) 解答を言葉や文章などを使って説明する問題について、最後まで解答を書こうと努力しましたか

(質問：82) 解答時間は十分でしたか(国語A)

オ) その他に望ましい傾向がみられるもの

○自尊感情・達成感

(質問：4) ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか

○学校生活

(質問：27) 学校で友達に会うのは楽しいと思いますか

○向上心・社会貢献

(質問：37) 人の役に立つ人間になりたいと思いますか

## ②全国との比較から

〈表8〉は、生徒質問紙調査のうち、全国の肯定的回答の割合と仙北市の生徒の肯定的回答の割合を比較して仙北市の割合が+10ポイント以上のものを示している(表の網がけの部分)。県の割合との比較は参考のために示した。

〈表8〉生徒質問紙調査のうち、全国と比較して肯定的な回答の占める割合が高い事項

質問番号	質問事項	項目	肯定的 回答の 割合(%)	否定的 回答の 割合(%)	仙北市と全国 との肯定的回 答率の差(ポイント)
(6)	将来の夢や目標を持っていますか。	全国の割合	73.2	26.7	+13.8
		県の割合	80.1	19.9	+6.9
(24)	家で学校の宿題をしていますか。	全国の割合	85.7	14.2	+10.6
		県の割合	92.5	7.4	+3.8
(26)	家で学校の授業の復習をしていますか。	全国の割合	45.5	54.3	+34.1
		県の割合	80.4	19.3	-0.8
(29)	今住んでいる地域の行事に参加していますか。	全国の割合	37.7	62.1	+25.3
		県の割合	45.1	54.7	+17.9
(34)	近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか。	全国の割合	87.3	12.5	+10.8
		県の割合	90.4	9.5	+7.7
(40)	普通の授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていると思いますか。	全国の割合	26.7	73.2	+30.7
		県の割合	44.7	55.2	+12.7
(41)	普通の授業で自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか。	全国の割合	76.9	22.9	+17.5
		県の割合	88.6	11.3	+5.8
(42)	普通の授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。	全国の割合	60.9	38.9	+20.6
		県の割合	81.4	18.5	+0.1
(50)	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。	全国の割合	50.4	49.4	+12.6
		県の割合	69.8	30.0	-6.8
(51)	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか。	全国の割合	45.6	54.2	+15.5
		県の割合	60.5	39.4	+0.6
(53)	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめりに内容を理解しながら読んでいますか。	全国の割合	65.6	34.2	+12.2
		県の割合	77.2	22.7	+0.6
(61)	数学の授業で学習したことを普通の生活で活用できないか考えますか。	全国の割合	36.5	63.2	+13.5
		県の割合	46.2	53.7	+3.8
(67)	理科の勉強は好きですか。	全国の割合	61.6	37.9	+23.6
		県の割合	68.5	31.5	+16.7
(68)	理科の勉強は大切だと思いますか。	全国の割合	68.5	31.1	+13.0
		県の割合	73.5	26.4	+8.0
(69)	理科の授業の内容はよく分かりますか。	全国の割合	64.1	35.3	+26.6
		県の割合	70.5	29.5	+20.4
(67)	理科の勉強は好きですか。	全国の割合	61.6	37.9	+23.6
		県の割合	68.5	31.5	+16.7
(70)	自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか。	全国の割合	70.2	29.1	+15.0
		県の割合	79.2	20.7	+6.0
(71)	科学や自然について疑問を持ち、その疑問について人に質問したり、調べたりすることがありますか。	全国の割合	46.0	53.5	+26.2
		県の割合	53.6	46.2	+18.6
(72)	理科の勉強は好きですか。	全国の割合	61.6	37.9	+23.6
		県の割合	68.5	31.5	+16.7
(76)	観察や実験を行うことは好きですか。	全国の割合	76.0	23.3	+11.0
		県の割合	83.9	15.8	+3.1
(77)	理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか。	全国の割合	46.4	52.9	+18.4
		県の割合	60.8	39.0	+4.0
(78)	理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか。	全国の割合	56.5	42.8	+21.3
		県の割合	70.3	29.5	+7.5
(79)	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかをふり返って考えていますか。	全国の割合	49.8	49.3	+11.3
		県の割合	62.8	37.0	-1.7
(80)	理科の授業で、物を作ることは好きですか。	全国の割合	68.2	30.8	+15.1
		県の割合	75.1	24.5	+8.2

---

## IV 改善の方法

---

### 1 全体的な取組として

---

本委員会では、仙北市全体（抽出校）の状況を踏まえて、一層の確かな学力の向上と授業改善の方向性について、現在仙北市内の各学校で取り組んでいる改善策をもとに意見交換を行った。

先に、本調査の教科に関する調査結果で、仙北市の課題として捉えられ改善のために検討の余地があるもののうち、特徴的なものを挙げたが、その設問中であって特に注視したい語句が「……ながら」「関係」「関連付けて」の3つである。具体的には、「表現の効果について確かめながら物語を創作する」「目的や意図に応じ、適切に敬語を使いながら、内容の中心を明確にして書く」「場面と図とを関連付けて、二つの数量の関係を理解している」「三角形の底辺と高さの関係について理解している」「立体図形の辺と面の垂直の関係を理解している」「示された複数の情報を関連付けて解釈し、算数の用語で的確に表現されているものを選択できる」「表から比例の関係を捉え、二つの数量の変化の仕方に対応する式を選択することができる」「植物の受粉と結実の関係を調べる実験について、結果を基に方法を改善して、その理由を記述できる」「図形の性質を数量の関係に着目して捉え直し、その特徴を捉え、数学的に表現することができる」が、これにあたる。学習活動間の接続や学習して得た複数の知識を活用することを児童生徒が意識できる学習を構築する必要がある。

また、仙北市中学校3年国語について挙げられた課題の3点全てが「言語についての知識・理解・技能」についてのものであった。ここからは、日常生活での文字・言葉遣いへの意識が疎略になりつつある傾向が読み取られるものである。このことは、他学年他教科の中にある「出題の趣旨」としての「理解している」「分析できる」「記述できる」「説明することができる」等が課題として挙げられる要因の一つに数えられる。

これらの現状を踏まえ、授業改善については5つの視点から、全校体制の取組については2つの視点から、さらに授業以外の時間の活用の視点から、今後の仙北市各校が共通理解の上、現状を改善していくために実践されるべき方策を以下に示す。

### 1 授業改善の視点から

#### (1) 育てたい力を明確にした授業構築

1単位時間の授業を、日常生活、社会生活での課題解決のための演習と捉え、課題解決のための思考過程を体験、習熟するための時間とする。そのためには、児童生徒が、自分が現在、何のために、何をしています、それが何に結び付いているのかを熟知している必要がある。

- 学習の「めあて」を明確にし、授業の終末段階では「めあて」に対応した振り返りをすることによって、授業時間のゴール（その学習時間にどのような力を身につけていけばよいのか）を明確にする。
- 導入段階では、児童生徒が学習の見通しを持てるようにする。
- 学習の振り返りには、教科の専門用語が活かされるように配慮することによって、「めあて」に対応した振り返りになるようにする。
- 児童生徒の課題意識を高めるために、授業への導入には日常生活、社会生活の体験が活かされるように工夫する。
- 学習した内容が児童生徒個々の生活を想起しやすい資料の活用を図り、学習で得た知識が日常生

活で活用される機会をつくる。

- 課題解決のための「課題を把握し、理解する」「情報を収集し、個で考えを持つ」「考えを言語化し、他に伝えることで確固としたものにする」「他者の考えとの比較検討を通し、考えを深め、自分の変容に気づく」「教科の専門用語を用いて本時の学習内容をまとめ、他で生かせる場面を探る」の思考過程を、カード等を用いて児童生徒に明示し、1 単位時間の授業において、どの過程を学習しているのかを明らかにする。

(2) 思考力・判断力・表現力等の育成に向けた言語活動の充実

- 話し合い活動を多く取り入れるのみならず、話し合い活動に取り組んでいるという実感を児童生徒が持つことができるように工夫する。具体的には、聞き手については話し手に意識される聞き手となるように指導する。話し手については、聞き手の反応から考えを深められるように指導する。
- 基礎の話型を提示するとともに、話し方、聞き方の具体的な姿を明示する。
- 教科の専門用語を身につけさせる工夫をし、その用語やキーワードを基に文章で結論をまとめるなどの活動を取り入れる。
- 新聞・パンフレット・ガイドブックなど自分の考えをまとめて書くための多様な活動を取り入れる。
- 音読を重視し、発声することによって理解を進める時間を確保する。
- 視聴覚機器の活用を推進する。
- 学習課題について、自分の予想を明確にし、自分の予想と学習結果を結び付けて自分の言葉でしっかり話すように指導する。

(3) 児童・生徒の「問い」を生かした授業

- 学習計画は教師、児童生徒の学習参加者全員で考えることを基本とする。
- 子ども達の思いを生かしながら課題を設定するために、初発の感想を生かした授業づくり、また、ノート記録等を用いて既習内容を確認し現時点での疑問等をはっきりさせてからの授業づくりをする。
- 児童生徒の生活体験に結び付けた予想や問いを大事にし、生徒の意識調査から得られる「生徒自身のつぶやき」を生かした学習課題を設定する授業をできるだけ取り入れる。

(4) 児童・生徒の学習意欲に結び付く指導

- 学び合い、認め合う授業を構築することによって児童生徒の学習意欲を高めるためにも、児童生徒が聞き手として積極的に反応する授業を進める。
- 学習内容が日常生活に関連していることに気が付くことができる授業展開をする。
- 「めあて」と「ゴール」の符合により、その学習時間の充足感が次時の学習時間の意欲につながるようにする。
- ゴールをコンパクトにし、みんなで、みんなができるようになる授業づくりをする。
- 適切な発展的・応用的な課題を設定し、さらに意欲・関心を引き出す工夫をする。
- 自学時間を全校縦割りによる学び合いの時間にするなどして、自己有用感を持つ中で学習に取り組めるようにする。
- 理科では実験材料を多く準備し、児童生徒のアイデアで実験できる環境づくりをする。

(5) 基礎・基本の定着と個に応じた指導の一層の充実

- 場面に応じての、個に応じるためのT T、習熟度別での指導を推進する。
- 基礎テストや暗唱テストなどにおいて、個別指導と賞揚を大切にする。
- 学び直しの時間を設定する。
- 学習記録としてのノート指導を徹底する。

## 2 全校体制の取組の視点から

### (1) 研修・研究の在り方等について

- 積極的に他教科・他学年から学ぶため、教科・学年枠を超えた授業研究を行う。
- 研修会での話し合う活動においてはペア・グループ・全体等、協議の形態を工夫し、教師個々の考えが多く引き出される方法を取り入れる。
- 学年に応じたつきたい力を明確にし、学年を越えた研修の場において全体で共通理解する。
- 学校重点事項、共通実践事項を活用し、互いに授業を見合うフリー参観期間を設定するなどして、共通の実践による成果、課題を検証する。また、教科の授業の様子、生徒の様子を参観することにより、自身の指導に生かす。
- 一人一研究授業を推進する。

### (2) ノート指導の充実等、各校の重点的な取組について

- ノート指導の取組、板書の仕方の情報交換・共通理解をし、学校内で統一感を持って指導する。
- 児童生徒には、自分の学習成果を振り返られるように学習の足跡を残す意味を指導する。
- 学び合いの場の設定を重点とする。
- 基礎定着のための朝学習の時間を全校体制で指導する。
- シート学習からノート指導中心の指導へ移行する。

### (3) 小・中の連携について（9年間の系統性・連続性）

- 校内授業研究会に学年・教科を問わずに互いに参加しお互いの授業を見合う。
- 仙北市教科書センターを利用したり校種の違う教科書を購入したりして、他校種の教材研究や既習内容の確認をすることによって、義務教育9年間の系統性を確認する。

## 3 授業以外の学習機会の活用の視点から

- 朝の学習時間、放課後の時間を活用する。
- 長期休業中に学習相談期間を設け、個の学習上の課題の解決にあたる。
- 授業を含めた多様な学習機会を活用したときの学習内容、学習方法が、有機的に連結するように吟味し、それを学習（連結）計画表として明記する。
- 地域の人材を活用する。

## 2 学年・教科・区分・各設問ごとの具体的な改善の方策

学年・教科・区分について各設問ごとの結果から改善のために検討の余地があるものについては、次の資料の活用を充実させる必要がある。

- 「平成24年度 全国学力・学習状況調査【小学校】報告書」
- 「平成24年度 全国学力・学習状況調査【中学校】報告書」  
〈平成24年9月 文部科学省 国立教育政策研究所〉
- 「平成24年度 全国学力・学習状況調査 小学校の結果を踏まえた授業アイデア例」
- 「平成24年度 全国学力・学習状況調査 中学校の結果を踏まえた授業アイデア例」  
〈平成24年9月 国立教育政策研究所教育課程研究センター〉
- 「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力・判断力・表現力の育成に向けて～」  
【小学校版】 〈平成22年12月 文部科学省〉  
【中学校版】 〈平成23年 5月 文部科学省〉
- 「評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（小学校・各教科）」  
〈平成23年11月 国立教育政策研究所教育課程研究センター〉
- 「評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（中学校・各教科）」  
〈平成23年11月 国立教育政策研究所教育課程研究センター〉

## 3 改善のための仙北市教育委員会の教育施策のあり方について

### (1)地域の人材活用と財政的支援

仙北市教育委員会は学校における地域人材等の活用及び特色ある取組について、一層の支援を行う必要がある。

本市教委では平成20年度から「学校教育バックアップ事業」を開始し、市内の各小・中学校で教育支援活動をしている地域住民を「バックアップチーム」として登録し支援している。今後も小・中学校において、授業場面での活用や授業サポートとしての活用を行い、事業を充実させていく。

また、平成25年度からは、各校の特色ある「ふるさと教育・キャリア教育を推進する取組」や教材の充実に対し一層の財政的な支援も予定している。各校での取組の充実が児童・生徒の生きる力の育成につながるよう働きかけていく。

### (2)北浦教育文化研究所研究委員会の充実について

上記Ⅳ－2の各種資料については、各校の研修における活用とともに、研究委員会での研修内容として取り組むことが必要と考える。研究委員会の組織の見直しと併せ、各校の充実した取組に効果のある研究委員会の開催を目指す。

## 4 学校・家庭・地域の一層の連携

---

確かな学力の向上のためには、「基本的生活習慣」や「基本的学習習慣」の基盤の上に「学びのサイクルの習慣化」が必要である。これは授業を核として、授業日の家庭学習や長期休業中の学習、学校の始業前や放課後の学習が結びつけられ、関連し合って児童生徒の学びの機会が習慣化されていくことである。そのためには、学校・家庭・地域の一層の連携が必要である。

家庭では子どもの基本的生活習慣や学習習慣などに関心をもち、学校と協力して一層望ましい姿になるよう家庭教育を充実させることが望まれる。これについては、児童・生徒質問紙における「家での手伝いの実施」については肯定的回答が低い傾向にあったことも踏まえておきたい。放課後におけるスポ少活動や部活動との関係もあるが、児童生徒が就寝までの限られた時間の中で、家族の一員としての役割を果たしながら学習時間を確保できるよう家庭内でも協力していくことが望まれる。

仙北市の子どもたちが地域に対する愛着が深く、地域生活において多くの望ましい傾向がみられることは、地域住民の支えが大きく影響していると考えられる。この点からも、これまで以上に学校・家庭・地域の連携を一層深めることが重要であると考えられる。